

いよいよ報恩講の時期となってきた。当寺では12月の第2日曜日、と毎年決めてある(本年は9日)ので、ご門徒の皆さんも間違ふことなく予定をいただいていることとと思っている。この日にはお勤めはもちろんの事、聞信徒総会も開かれ、年に一度の同朋の集う日となる、格別な一日なのだ。

普段はなかなかお寺に来れない方々も、この日だけはと山門をくぐっていただける。年に一度も寺へ足を運ばないということは、門徒である以上ありえないことなのだ、最近強く思うようになってきた。

何の、誰のための寺なのか、寺そのものの存在意義にも関わってくることもあり、同時に私そのものの存在をも問われてくる大きな問題でもあるとも思われるからだ。門徒とは何なのか、住職も含めてその生きる姿勢が問われてくる場が寺であり、報恩講と言うご縁に出会うということなのだ、と思う。

人生の節目談義

義母の介護。怒り、そして泣き笑い

(お話を聞きながら)

墨俣町在住

匿名希望

月命日には、いろいろとお話を聞かせていただくことが多いこのご家庭なのですが、ここ何年か義理のお母さん(八十代)が認知症の症状が出て、最近ではかなり進んでいる状態のようなのです。

最近でも時々私と一緒に参りをさせていただきましたが、かつての様に会話は弾みませんし、どこか生気を感じられない元気がないように思っていました。この日はお母さんがデイサービスでお留守のようでしたが、いつものようにお茶と好物の金蝶饅頭をいただきましたが、何とはなしにお嫁さんとお母さんの話になりました。とても明るく前向きに生きていらっしゃる奥様ですが、現実はとても大変のようです。

以前に奥様から「こんな話を聞かせていただきました。互いの思いの違いでもめごととなり、大声で怒鳴ったりすることもあったとか。冷静さを取り戻せば、病気の義母と対等に言い争っていた自分が悲しくなってしまうのです。また「自分が怒っている時の顔を一度見てみたいわ」「きつと恐ろしい顔してるんやろね」とも。私は「自分の顔見るのはそりゃ無理やわ、絶対見られへんわ、鏡を見た時はそれはもう別の顔になっているからね。ただ、顔は見れへんけど自分の心の有り様はお母さんが見せてくださっているように思うけどね」。自分の心を見せてくださっているお母さんとのご縁は、仏様のお働きかな。腹立てても怒れても仕方がないわ、人間やからな。ただこうして気づいていくことは大事やと思うんやけどな」と申し上げたことでした。

そして「今日もこんな話を聞かせていただくことができました。お母さんが介護認定を受ける時の話。「お嫁さんはどんな人やね」と聞かれたそうだが、「家で一番偉い人」と答えられたそう。何か嫌味な感じがしてその時ムツとしたのだが、その後はなぜか笑えてきてしまったと言う。たぶん日常で一番関わり合う私が、あれこれ指示をするから、そう思ったのだらうが、考えてみれば素直でありのままの心を書いて表した言葉かもしれないと思ったと言う。また、息子さんが帰宅後食事をされていた時、突然戸を開けて現れた母が、少々薄くなった息子さんの頭が照明に照らされているのを見て、「ああ、びっくりした。ピッカピッカに光ってる」と、いかにもびっくりしたかのように言われたそう。自分の息子と分かってかどうか、思ったことをそのまま言う子供のような心に、二人で大笑いをしたことだと。怒ると怖い顔をして部屋にこもったりで、介護に「いよいよ」ともあるのですが、最近では「いずれは私も通る道」と思いつきながら、私も素直に泣き笑いしながら、できることをやって行くように思っています」と。

最後に「話をして何か楽になった」と言ってくれたことが、私にはとても嬉しく思えたことでした。

参加者募集中!

光受寺 合唱団 新たなご縁



10月27日(土)
参加者 12名

おひらき

およそ50年ぶりに光受寺における御遠忌法要をお迎えするにあたって、多くのおかげさまをいただきながら執行できますことを、共に慶び合いたいと思います。

全門徒が、何らかの形でどこかで参画していただくことが何より意義ある御遠忌となり、またそれこそが聖人のご恩に報いていくことだと確信いたしております。

御遠忌を機に真実の教えに出会い、改めて生きることへの意義を自らの人生に問うていこうではありませんか。

この合唱団の歩みは御遠忌に向けての新たなご縁の歩みとなります。

こんな歌の披露を予定いたしております。

- ♪ 真宗宗歌
 - ♪ みほとけは
 - ♪ 三帰依
 - ♪ なんまんだぶつの子守歌
 - ♪ しんらんさま
 - ♪ 恩徳讃2
- 「こつば」(歌詞)をかみしめてほしい歌ばかりです。その中の一曲を下段に紹介いたします。

なんまんだぶつの子守歌

1. なんまんだぶつ なんまんだぶつ
おじいちゃんの お念仏
おまえ ひとりじゃ ないんだよ
しんらんさまも いなくなるよ
いまも しみじみ 思い出す
おじいちゃんの 子守歌
2. なんまんだぶつ なんまんだぶつ
おばあちゃんの お念仏
いただきます ありがとう
忘れず 大きくなつとくれ
いまも 心に 浮かびくる
おばあちゃんの 子守歌
3. なんまんだぶつ なんまんだぶつ
ちいさな子どもと 手をあわす
数えきれない 人たちに
願われ 生まれた おまえだよ
いまも たしかに 聴こえる
しんらんさまの 子守歌

「おひらき」

一年に一度は報恩感謝の心を込めてお勤めをいたしましょう。真宗門徒の務めです。
日時は仕職と相談してください。

